

人口とジェンダー

— 少子化対策は可能か —

日時 平成20年1月12日(土)
13:00～17:00

場所 日本学術会議講堂

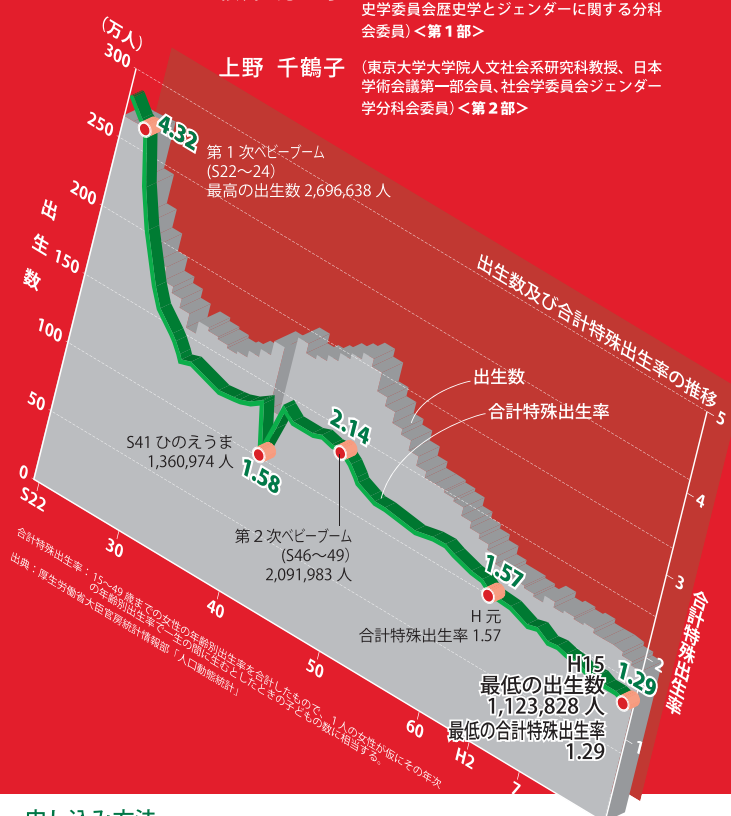
総司会:

久留島 浩 (国立歴史民俗博物館教授、日本学術会議連携
会員、史学委員会歴史学とジェンダーに関する
分科会委員)

コーディネーター及び司会:

桜井 万里子 (東京大学名誉教授、日本学術会議第一部会員、
史学委員会歴史学とジェンダーに関する分科
会委員) <第1部>

上野 千鶴子 (東京大学大学院人文社会系研究科教授、日本
学術会議第一部会員、社会学委員会ジェンダー
学分科会委員) <第2部>



プログラム

開会・挨拶

13:00～13:05 開会挨拶 天野 正子 (東京女学館大学学長、日本学術会議連携会員、社会学
委員会ジェンダー学分科会委員長)

13:05～13:10 副会長挨拶 浅島 誠 (日本学術会議副会長、東京大学理事(副学長))

13:10～13:20 来賓挨拶 上川 陽子 (内閣府特命担当大臣(少子化対策、男女共同参画))
(予定)

第1部 講演会

13:20～13:25 趣旨説明 桜井 万里子

13:25～13:45 「科学史における『産む性』」
小川 眞里子 (三重大学文学部教授、日本学術会議連携会員、史学委員会歴史
学とジェンダーに関する分科会委員)

13:45～14:05 「ナチズムと人口管理」
姫岡 とし子 (筑波大学大学院人文社会科学系研究科教授、日本学術会議連携会
員、史学委員会歴史学とジェンダーに関する分科会副委員長)

14:05～14:25 「資源化される身体」
荻野 美穂 (大阪大学大学院文学研究科教授、日本学術会議連携会員、社会学
委員会ジェンダー学分科会委員)

14:25～14:45 「グローバル化する東アジアの超低出生率」
落合 恵美子 (京都大学大学院文学研究科教授、日本学術会議第一部会員、社会
学委員会ジェンダー学分科会委員)

14:45～15:05 「少子化対策の今」
白波瀬 佐和子 (東京大学大学院人文社会系研究科助教授、日本学術会議連携会
員、社会学委員会ジェンダー学分科会委員)

(15:05～15:30 休憩)

第2部 シンポジウム

15:30～16:00 討論
討論者: 江原 由美子 (首都大学東京都市教養学部教授、日本学術会議第一部会員、
社会学委員会ジェンダー学分科会委員)

杉田 敦 (法政大学法学部教授、日本学術会議連携会員)

武川 正吾 (東京大学大学院人文社会系研究科教授、日本学術会議連携会員)

16:00～16:50 一般討論

閉会

16:50～17:00 閉会挨拶 長野 ひろ子 (中央大学経済学部教授、日本学術会議連携会員、史学委員
会歴史学とジェンダーに関する分科会委員長)

申し込み方法

E-mail、FAXまたははがきにて、講演会名、氏名(ふりがな)及び連絡
先(E-mailアドレス、FAX番号、電話番号)をご記入の上、公開講演
会担当宛にお申し込みください。

お問い合わせ先

日本学術会議事務局企画課公開講演会担当
〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34
TEL: 03-3403-6295 FAX: 03-3403-6224
E-mail: sympo@scj.go.jp URL: <http://www.scj.go.jp>

参加無料

* 定員(250名)となり次第、締め切りとさせていただきます。
* 締め切り以降にお申し込みがあった方のみ、その旨ご連絡を差し上げま
すので、ご了承下さい。
* なお、定員に達しない場合は、当日も受付を行いますので、直接事務局へお
問い合わせください。

access 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅下車
出口5(青山公園方面)徒歩1分



主催 日本学術会議

後援

東北大学 21 世紀 COE「男女共同参画社会の法と政策」、お茶の水女子大学 21 世紀 COE プログラム「ジェン
ダー研究のフロンティア」、東京大学男女共同参画室、京都大学女性研究者支援センター、大阪大学多様な人
材活用推進委員会、名古屋大学男女共同参画室、女性科学研究者の環境改善に関する懇談会(JAICOWS)、日本
女性学会、ジェンダー法学会、ジェンダー史学会、国際ジェンダー学会、日本ジェンダー学会、日本スポーツ
とジェンダー学会、総合女性史研究会、女性史総合研究会、女性学研究会、日本女性学研究会



日本学術会議

日本学術会議主催公開講演会「人口とジェンダー～少子化対策は可能か～」

趣 旨

人口は、生殖期にある男女の個人的な意思決定が、集合的な結果を生み出す社会現象である。人口の変動には複合的な要因が関係しており、人為的な統制が妥当であり、また可能であるかについては多くの議論がある。近代において、人口は常に政治的な課題となってきた。歴史的には、戦時下の出産奨励策や、戦後の人口抑制策など、生殖は国家の介入の対象となった。とりわけ、女性の身体管理が人口政策の焦点となってきた点で、人口とジェンダーには密接な関係がある。少子化問題が深刻な社会的課題とされる今日、人口政策は妥当とされるのか、そしてまた人口政策に効果はあるのか。ジェンダー学及びジェンダー史の知見に基づいて、歴史的な検討とともに今日的な課題を考える。

- 日 時 平成20年1月12日(土) 13:00～17:00
- 主 催 日本学術会議
- 会 場 日本学術会議講堂
- 後 援 東北大学 21 世紀 COE「男女共同参画社会の法と政策」、お茶の水女子大学 21 世紀 COE プログラム「ジェンダー研究のフロンティア」、東京大学男女共同参画室、京都大学女性研究者支援センター、大阪大学多様な人材活用推進員会、名古屋大学男女共同参画室、女性科学研究者の環境改善に関する懇談会(JAICOWS)、日本女性学会、ジェンダー法学会、ジェンダー史学会、国際ジェンダー学会、日本ジェンダー学会、日本スポーツとジェンダー学会、総合女性史研究会、女性史総合研究会、女性学研究会、日本女性学研究会

■ 次 第

総司会： 久留島 浩（国立歴史民俗博物館教授、日本学術会議連携会員、史学委員会歴史学とジェンダーに関する分科会委員）

コーディネーター及び司会：

桜井 万里子（東京大学名誉教授、日本学術会議第一部会員、史学委員会歴史学とジェンダーに関する分科会委員）（第1部）

上野 千鶴子（東京大学大学院人文社会系研究科教授、日本学術会議第一部会員、社会学委員会ジェンダー学分科会委員）（第2部）

開会・挨拶

13:00～13:05 開会挨拶 天野 正子（東京女学館大学学長、日本学術会議連携会員、社会学委員会ジェンダー学分科会委員長）

13:05～13:10 副会長挨拶 浅島 誠（日本学術会議副会長、東京大学理事（副学長））

13:10～13:20 来賓挨拶 上川 陽子（内閣府特命担当大臣（少子化対策、男女共同参画））（予定）

第1部 講演会

13:20～13:25 趣旨説明 桜井 万里子

13:25～13:45 「科学史における『産む性』」

小川 眞里子（三重大学人文学部教授、日本学術会議連携会員、史学委員会
歴史学とジェンダーに関する分科会委員）

13:45～14:05 「ナチズムと人口管理」

姫岡 とし子（筑波大学大学院人文社会科学系研究科教授、日本学術会議連携会
員、史学委員会歴史学とジェンダーに関する分科会副委員長）

14:05～14:25 「資源化される身体」

荻野 美穂（大阪大学大学院文学研究科教授、日本学術会議連携会員、社
会学委員会ジェンダー学分科会委員）

14:25～14:45 「グローバル化する東アジアの超低出生率」

落合 恵美子（京都大学大学院文学研究科教授、日本学術会議第一部会員、
社会学委員会ジェンダー学分科会委員）

14:45～15:05 「少子化対策の今」

白波瀬 佐和子（東京大学大学院人文社会系研究科助教授、日本学術会議連
携会員、社会学委員会ジェンダー学分科会委員）

（15:05～15:30 休 憩）

第2部 シンポジウム

15:30～16:00 討論（各10分）

討論者： 江原 由美子（首都大学東京都市教養学部教授、日本学術会議第一部
会員、社会学委員会ジェンダー学分科会委員）

杉田 敦（法政大学法学部教授、日本学術会議連携会員）

武川 正吾（東京大学大学院人文社会系研究科教授、日本学術会議
連携会員）

16:00～16:50 一般討論

閉 会

16:50～17:00 閉会挨拶 長野 ひろ子（中央大学経済学部教授、日本学術会議連携
会員、史学委員会歴史学とジェンダーに関
する分科会委員長）

【申込方法】

E-mail、FAX 又ははがきにて、講演会名、氏名（ふりがな）及び連絡先（E-mail アドレス、FAX 番号
又は電話番号）をご記入の上、公開講演会担当宛にお申し込みください。

* 定員（250名）となり次第、締め切りとさせていただきます。

* 締め切り以降にお申込があった方にのみ、その旨ご連絡を差し上げますので、ご了承ください。

＊ なお、定員に達しない場合は、当日も受付を行いますので、直接事務局へお問い合わせください。

お問い合わせ先：

日本学術会議事務局企画課公開講演会担当

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

TEL:03-3403-6295 FAX:03-3403-6224

E-mail: sympo@scj.go.jp

URL: <http://www.scj.go.jp>